

夜明け

山の端^は

炎^{ほのお}の鉄が

ながれだす

紅い陽光^{やうこう} 地上をつつむ

その刹那^{せつな}

奇怪なさけびが

空^{そら}を舞う

夕暮れ

蜉蝣 かげろう

夕日のなかに

溶け入る

躰 みはみえねども

水面 みなもに翳 かげり

みぞれの夜

寒葵 かんあおい

みぞれの夜 よる

炬燵の地獄 こたつ

腐りゆく臓腑 ぞうふ

戻しては食む は

雪の中

こめかみに
吹きつく雪の

冷たさ

落つるしづくは
こおりのなみだ

落ちて砕けよ

と願いしも

雪の中

きらりとひかる
こおりのなみだ

無題

かたちのないあなたをおもうわたしは
正気のころか

どこかへ行こうとしてどこにも行けぬ
わたしをさがそうとして

両手

目が覚めて

両手を見れば
ぼくの涙

紅くにじむ